RESAS

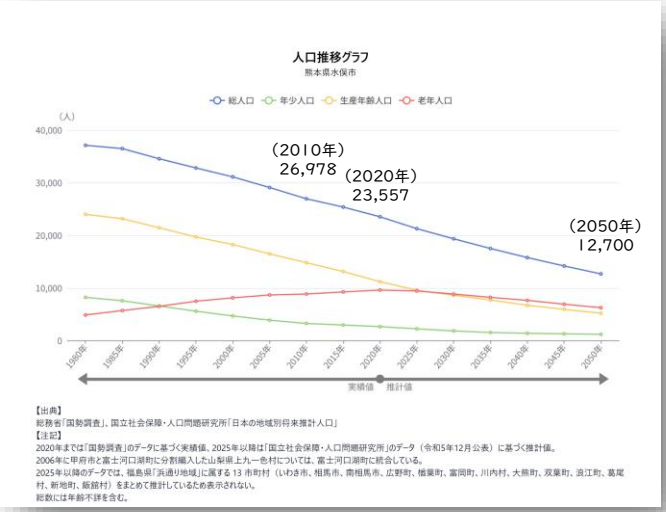
を分析してみよう

熊本県 水俣市

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。
データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

https://resas.go.jp
RESAS

人口



＊人口マップ→人口構成分析→人口推移

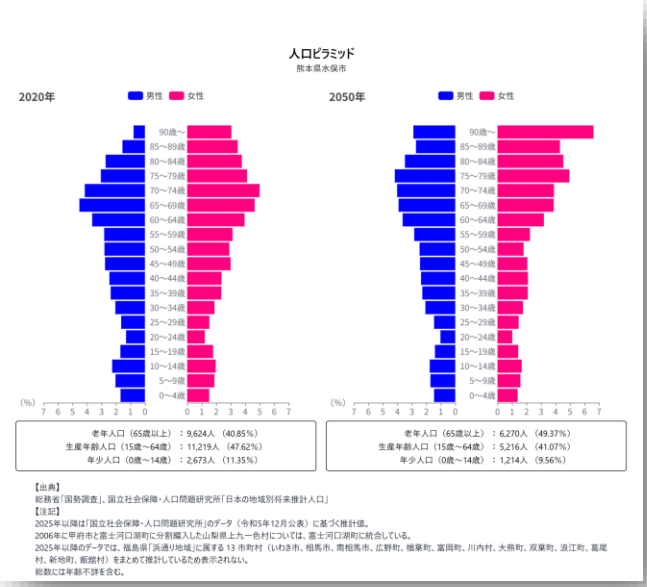
年齢別人口推移

2020年の人口は総人口23,557人。10年前（2010年）の26,978人と比較すると減少傾向にあり、2050年にかけてさらに減少傾向が続く見込みである。
また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、老年人口についても減少傾向にあるが、減少幅が少なく、老年人口割合が増加する傾向にある。
よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上をさす。

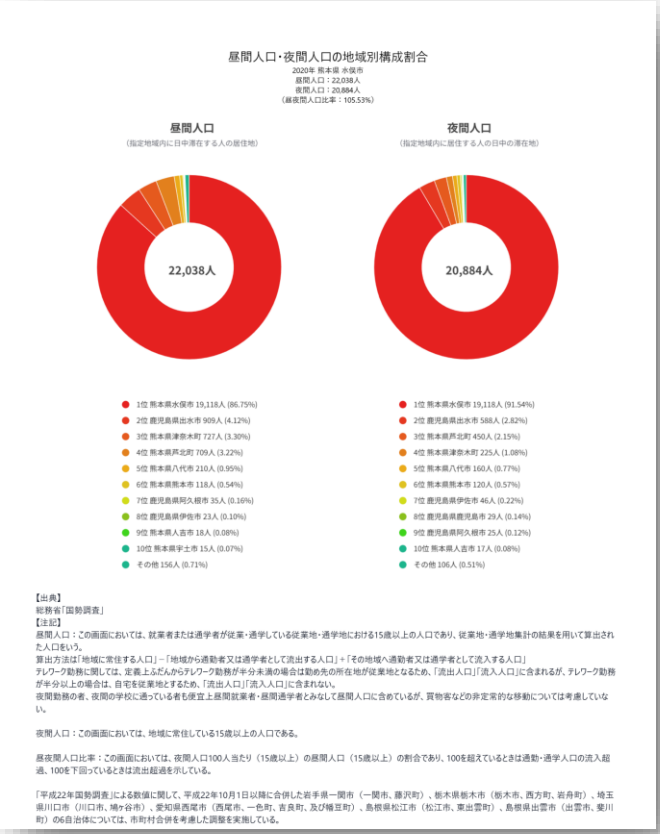
人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2050年の人口ピラミッドは「つぼ型」である。老年人口の割合をみると、2020年の40.85%から2050年には49.37%まで増加する。また、生産年齢人口は2020年の47.62%から41.07%まで減少する見込みである。



＊人口マップ→人口構成分析→人口ピラミッド

人口



＊人口マップ→通勤通学人口分析→地域間流動

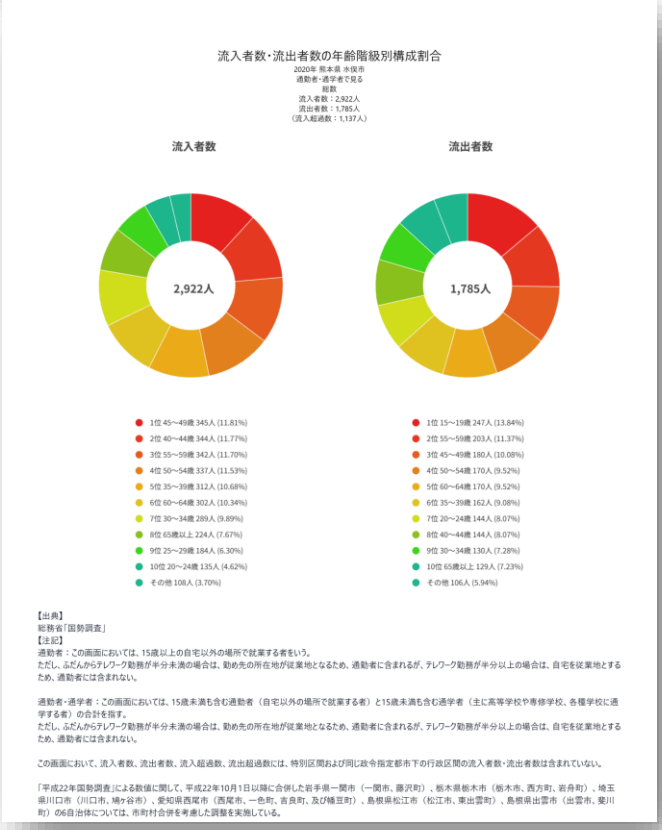
滞在人口（2020年）

昼間人口と夜間人口を地域別構成割合で示したグラフである。
水俣市の昼間人口は22,038人、夜間人口は20,884人である。昼夜間人口比率105.53%と、通勤・通学等での人口流入が多いことがわかる。

※15歳以上の人口を対象として算出している。

流入・流出者数（2020年）

水俣市内外への流入・流出者数を年齢階級別構成割合で示したグラフである。流入超過数が1,137人と市内への流入者が多い地域であることがわかる。
また、流入者数は45～49歳、流出者数は15～19歳がもっとも多くなっている。

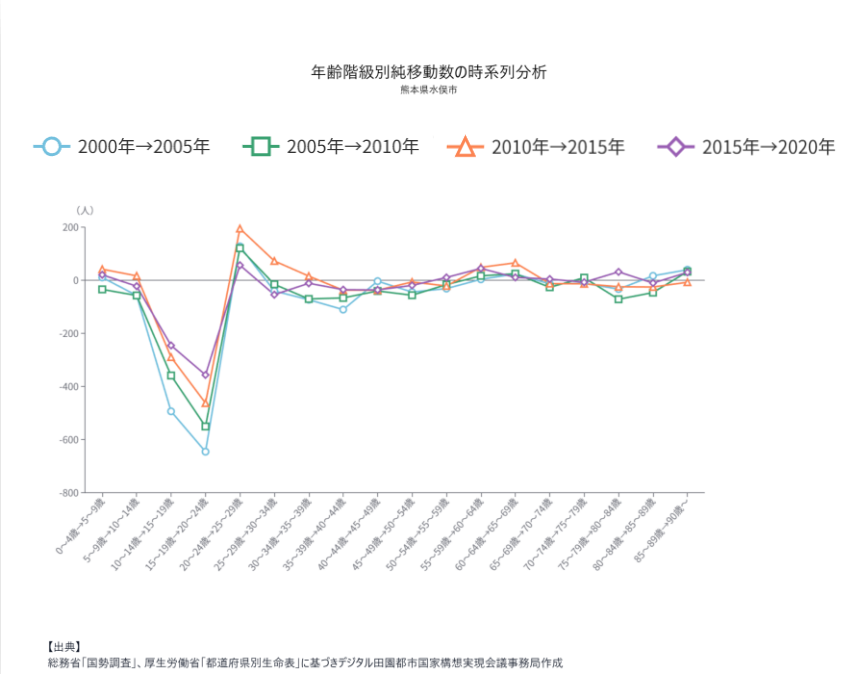


＊人口マップ→通勤通学人口分析→属性別流動

人口

年齢階級別純移動数時系列分析

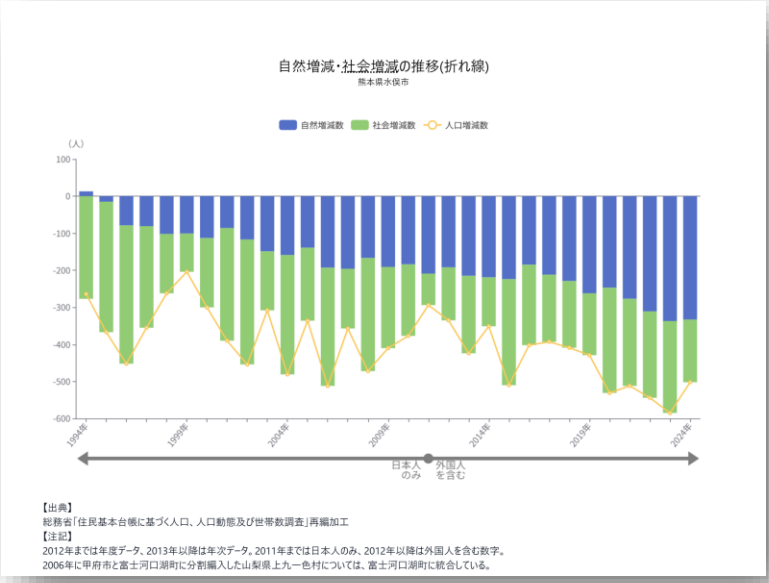
年齢階級別純移動数の時系列推移は、主に大学進学時（15～19歳→20～24歳）に人口が流出し、就職時（20～24歳→25～29歳）に人口が流入する。その後、30～40歳代では概ね均衡に近い水準で推移しており、子育て世代以降定着傾向にある。



＊人口マップ→社会増減分析→人口移動

自然増減・社会増減の推移

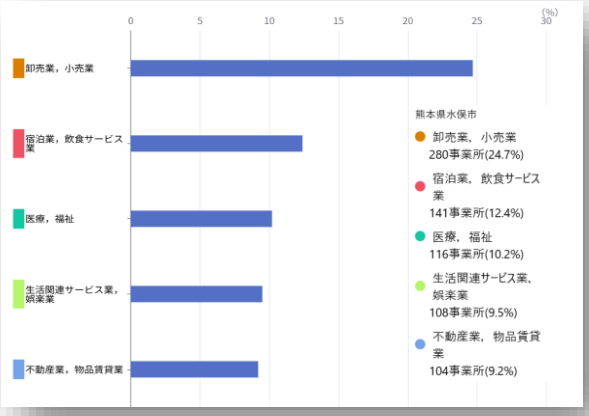
自然増減数（出生数から死亡数を引いた値）と社会増減数（転入者数から転出者数を差し引いた数値）の推移を示したグラフである。近年、自然減・社会減の傾向が強く、全体の人口としては減少している。



＊人口マップ→人口増減分析→グラフ

産業構造

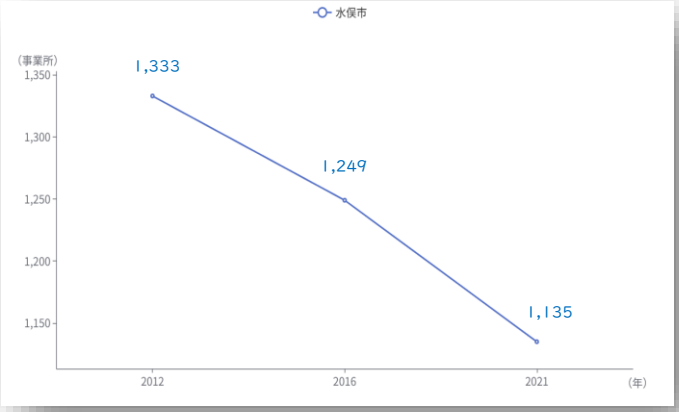
事業所数（事業所単位）：1,135事業所



＊産業構造マップ→産業構造分析→産業構成（事業所数）

事業所数（事業所単位）大分類（2021年）

業種ごとの事業所数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業,小売業」の280事業所で、全体の24.7%を占めている。その後「宿泊業,飲食サービス業」の141事業所の12.4%が続く。

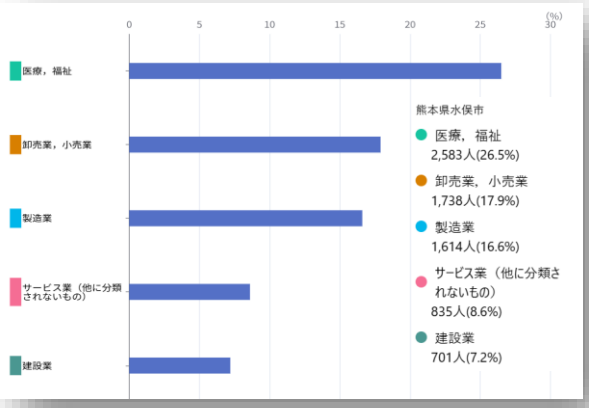


＊産業構造マップ→産業構造分析→推移（事業所数）

事業所数の推移（2021年）

事業所数の推移をみる。
2021年は1,135事業所であり、5年前の2016年は1,249事業所だったので、比較すると9.1%減少している。

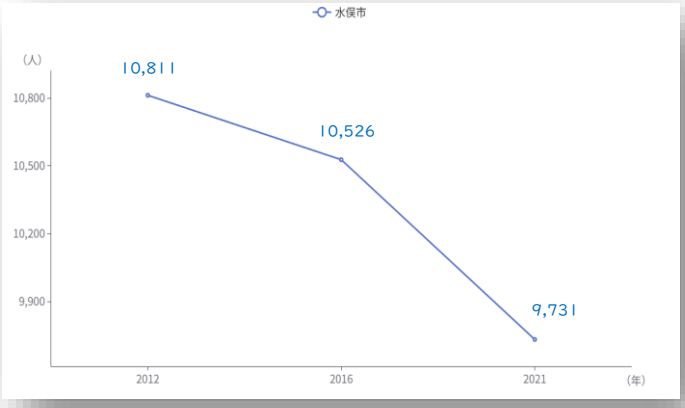
従業者数（事業所単位）：9,731人



＊産業構造マップ→産業構造分析→産業構成（従業員数）

従業者数（2021年）

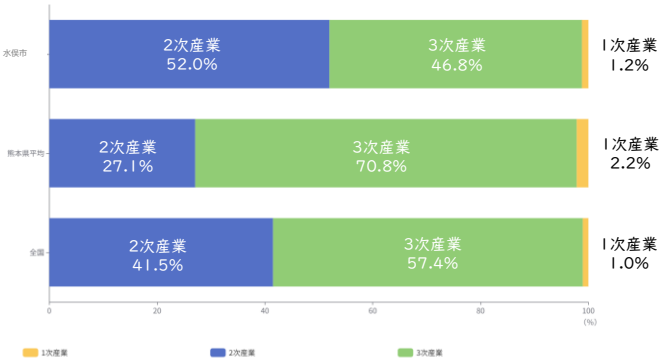
業種ごとの従業者数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのはの2,583人で、「医療,福祉」全体26.5%を占めている。その後「卸売業,小売業」の1,738人の17.9%が続く。



＊産業構造マップ→産業構造分析→推移（従業員数）

従業者数の推移（2021年）

従業者数の推移をみる。
2021年は9,731人、5年前の2016年は10,526人だったので、比較すると7.6%減少している。



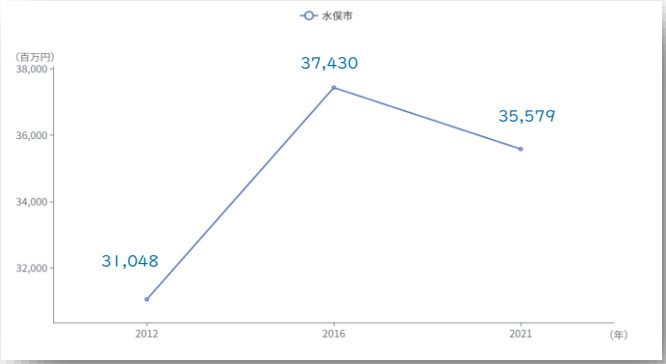
＊地域経済循環マップ→生産分析→地域産業の構造

地域内産業の構成割合（2022年）

水俣市の生産額を指標に産業の構成割合を全国および熊本県と比較したグラフである。2次産業の割合が52.0%であり、全国および熊本県平均と比べて高い。一方、3次産業の割合は、46.8%と全国および熊本県平均に比べて低い。

＊1次産業・・・農業、林業、漁業など
＊2次産業・・・製造業、建設業、工業など
＊3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業



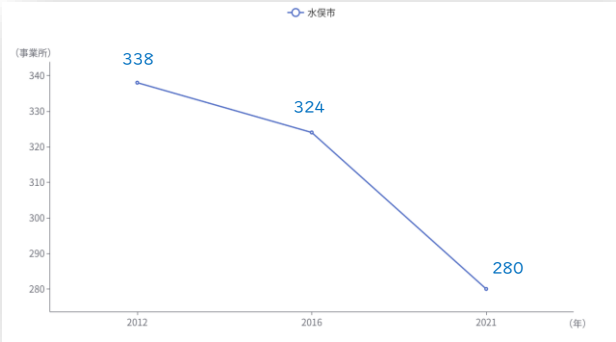
＊産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の売上高の推移を示したグラフである。
2021年の売上高は35,579百万円である。9年前の2012年と比較すると31,048百万円なので、14.6%増である。

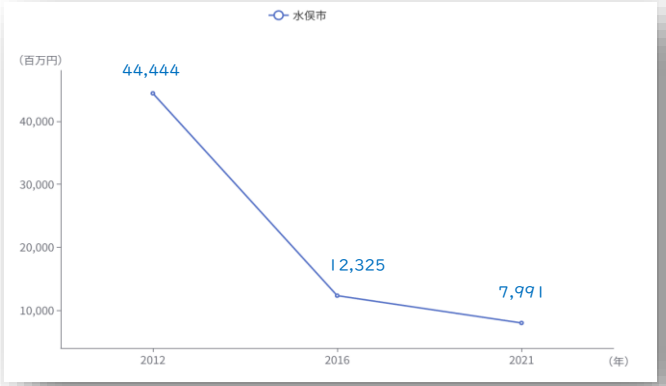
事業所数(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。
2021年の事業所数は280事業所、2016年は324事業所であり、2016年と比較すると、13.6%減となっている。



＊産業構造マップ→産業構造→推移

製造業



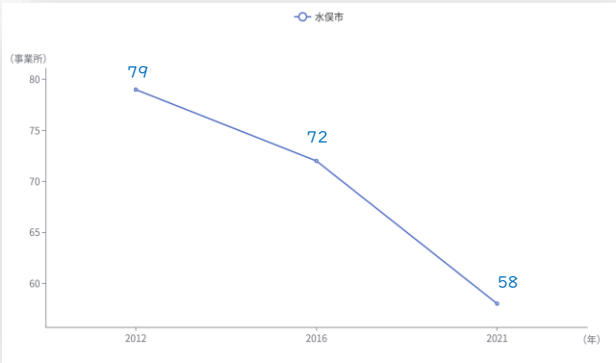
＊産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(製造業)の推移 (2021年)

製造業の売上高の推移を示したグラフである。
2021年の売上高は、7,991百万円である。
9年前の2012年と比較すると44,444百万円なので、82.0%減である。

事業所数 (製造業) の推移 (2021年)

製造業の事業所数の推移を示したグラフである。
2021年の事業所数は58事業所、2016年は72事業所であり、2016年と比較すると、19.4%減となっている。

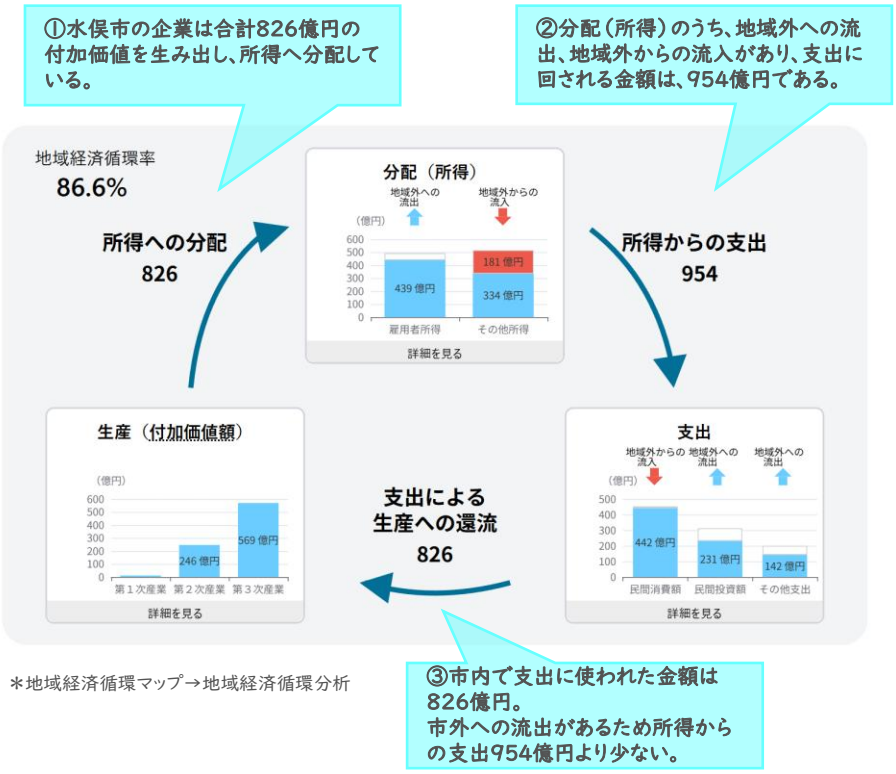


＊産業構造マップ→産業構造→推移

地域経済循環

地域経済循環図（2022年）

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。



＊地域経済循環マップ→地域経済循環分析

付加価値額の構造分析（付加価値額順/2021年）

X軸に従業者数、Y軸に労働生産性で表される付加価値額（面積）のチャートである。
付加価値額の要因が、労働生産性と従業者数のどちらの影響によるものなのかを把握する。水俣市では、「卸売業,小売業」の付加価値額がもっとも大きく、「医療,福祉」、「建設業」の順に続く。

産業	労働生産性（千円/人）	従業者数（人）	付加価値額（百万円）
卸売業，小売業	3,568	1,654	5,901
医療，福祉	1,343	2,283	3,067
建設業	4,970	600	2,982
製造業	4,107	577	2,370
サービス業（他に分類されないもの）	2,822	690	1,947
運輸業，郵便業	2,665	534	1,423
教育，学習支援業	2,765	196	542

産業	労働生産性（千円/人）	従業者数（人）	付加価値額（百万円）
宿泊業，飲食サービス業	1,125	440	495
生活関連サービス業，娯楽業	1,412	311	439
学術研究，専門・技術サービス業	3,373	102	344
農林漁業	1,888	125	236
不動産業，物品賃貸業	1,287	171	220
その他	3,091	33	102

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性（千円/人）	従業者数（人）	付加価値額（百万円）
金融業，保険業	3,091	33	102
複合サービス事業	-	15	X
情報通信業	-	6	X

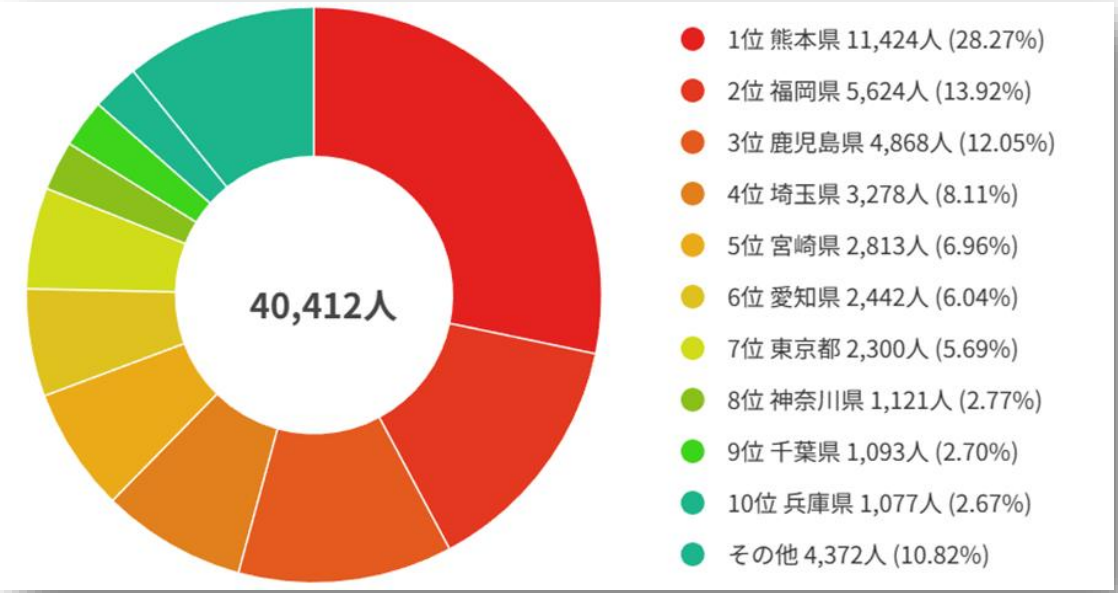
【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
【注記】+

＊地域産業マップ→産業構造分析→付加価値額の構造分析

観光

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合（2024年）

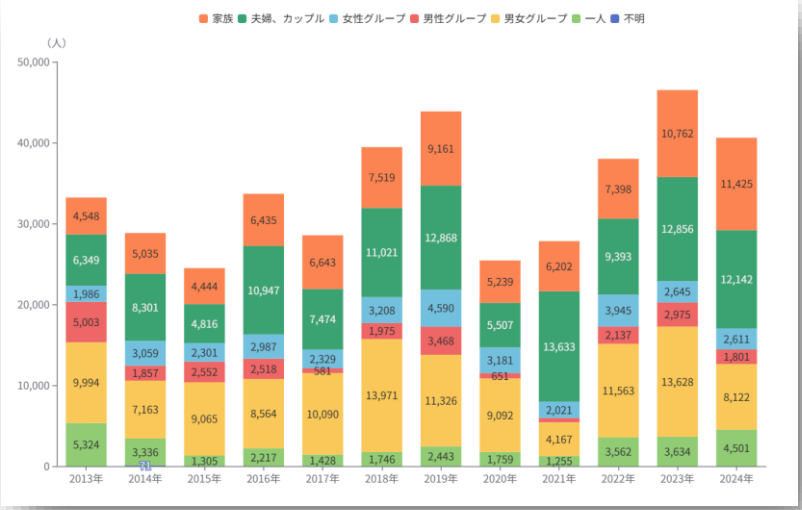
居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。熊本県が28.27%ともっとも多く、福岡県の13.92%、鹿児島県の12.05%が続く。



＊観光マップ→宿泊者分析→居住別都道府県別

属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

延べ宿泊者数の推移を形態別に示したグラフである。
2024年では、もっとも多いのは、「夫婦、カップル」の12,142人、その後、「家族」の11,425人、「男女グループ」の8,122人と続く。



＊観光マップ→宿泊者分析→属性別に見る

発行：水俣商工会議所
〒867-0042 熊本県水俣市大園町1丁目11−5
TEL：0966-63-2128　FAX：0966-63-6474
URL：https://www.minamata-cci.or.jp/